

中学生連載企画 私たちのふるさと 松山学 No.40

久谷中学校

久谷地区の伝統と文化

私たちが住むこの地区には、さまざまな伝統と文化があります。この伝統と文化を大切にし、継承したいと思い、生まれ育った久谷地区を調べることにしました。

打ち始めの霊場・浄瑠璃寺



志賀 天純さん (2年)

浄瑠璃寺は四国八十八ヶ所46番札所で、市内八ヶ寺の「打ち始めの霊場」とされています。



緑に包まれている境内

石段の左には「永き日や衛門三郎浄瑠璃(璃)寺」という正岡子規の句碑があり、境内には延命・豊作にご利益がある樹齢1000年の大樹・イブキビャクシンがあります。

8つの坂を切り開いて建てた・八坂寺



池谷 祐珠さん (3年)

701(大宝元)年に、伊予の国司・越智玉興が武天皇の勅願を受けて建立しました。このとき、8つの坂道を切り開いて建てたことが寺名の由来といわれています。

八坂寺は一時荒廃しますが、815(弘仁6)年、弘法大師が再興し、霊場と定めます。その後、紀伊国から熊野十二所権現が勧請(移して祭ること)され、修験道の根本道場となり、「熊野八坂寺」とも呼ばれるようになりました。



石段横にある「救いの手」(写真中央)

本堂と大師堂の間には閻魔堂があり、「極楽の道」と「地獄の道」が描かれています。また、本堂に上る階段には足や目の病に効くといわれる「救いの手」もあります。

四国八十八ヶ所巡礼の
ルート・衛門三郎伝説



阿部 隼也さん (3年)

八ツ塚群集古墳は衛門三郎の8人の子どもの墓といわれています。



田んぼに囲まれている古墳

弘法大師が衛門三郎にお布施をお願いしましたが、衛門三郎は大師の鉢をたた

き落としました。すると、鉢は8つに割れて飛び散り、その後、衛門三郎の子どもが次々と亡くなりました。罪を悔いた衛門三郎は、大師に謝罪したいと四国各地を巡りますが、途中で力尽きてしまいます。後日、伊予の国で子どもが生まれます。その子の手には「衛門三郎」と書かれた小石が握られていました、というのがこの伝説です。

お遍路さんをもてなす・接待木



岸 楓香さん (3年)

窪野町の道沿いにある接待木には、毎年ミカンなどの果物がなります。「お遍路さんに少しでも笑顔届けたい」という気持ちでこの木のお世話をしています。

草抜きや肥料を与えることは地道で時間のかかる作業ですが、久谷地区の人やお遍路さんと関わることでできる良さもあります。



お遍路さんに気持ち良く食べてもらうため

美しい森林を守る・
下草刈り



高橋 ゆらさん (2年)

毎年1年生が「森と環境との関わりを考える」授業の一環で下草刈り体験を行っています。県の職員に森林環境などの話を聞いてから、「久谷ふれあい林」で実施。第17回全国植樹祭で、昭和天皇・皇后陛下が植えられたスギ・ヒノキの周



下草刈りを行う「久谷ふれあい林」

りの下草を刈っていきます。美しい森林を守っていくことの大切さを学ぶことができる貴重な体験です。

先輩に学ぶ地区の歴史



八坂 美乃理さん (1年)

東温高等学校郷土芸能部の方に、衛門三郎の伝説や荏原城の話などを教わりました。



手作り資料で高校生が説明

高校生の紙芝居はとても分かりやすく、今まで知らなかったことも理解できました。機会があれば、地区の話をもっと調べたいです。

伝統・文化を大切に

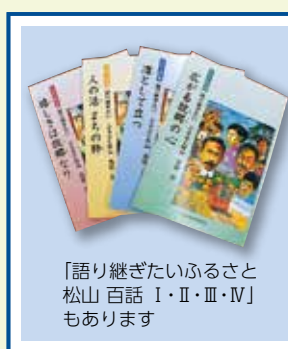


山崎 琉さん (3年)

久谷地区には未来に残したい伝統と文化がたくさんあります。今回、改めて、久谷地区の魅力を感じる事ができ、ますます好きになりました。これからも久谷地区の伝統・文化を大切にしていきたいです。



四国八十八ヶ所、八坂寺、八ツ塚群集古墳
記念写真も8人で(題字の宮脇さんと)



「語り継ぎたいふるさと松山百話 I・II・III・IV」
もあります

松山ゆかりの先人78人と伝統文化や歴史のお話17話を掲載しています。購入方法など詳細は市教育研修センター事務局 ☎989-15144へお問い合わせください。

先人と文化の読み物教材
広げられ！
ふるさと松山の心